



発行：大城

ほけんだより

HALLOWEEN

新学期がスタートして早6ヶ月が過ぎました。。。今年度は、コロナウィルスの影響により自粛期間もありましたが、ハイハイだった子が1人で歩けるようになったり、おしゃべりが上手になったり、出来なかった事が出来るようになったりと、子ども達1人1人が日々成長しているのを実感しています。予定変更もありますが、今月は発表会の練習に励んでいますので楽しみにしててくださいね！また10月10日は目の愛護デーになりますので、これを機会にお子さまの目のチェックをしてみませんか？？今月も元気に過ごしましょうね(o^-^o)

ウイルス性の風邪には抗生剤は不要

風邪の原因は80～90%がウイルス性である。残りの10～20%が細菌やマイコプラズマ、クラミジアといった病原性微生物による感染が原因です。病原微生物に感染した場合は抗生物質治療が必要であるが、ウイルス感染には抗生物質は必要ありません。

ウイルス性の風邪の場合は子供たちが持つ免疫力で自然治癒していきます。

「風邪＝抗生剤」の考えを見直して、免疫力で治りやすくなるようサポートしてあげてください！

抗生剤が必要でない時に使用すると抗生剤が効かない

ばい菌が体に住み着いて、そのばい菌が悪さをした時に

抗生剤が効かない状況になってしまいます。

抗生剤が必要な時は最後まで飲み切る！

中途半端に抗生剤の使用を中止してしまうと抗生剤の効かない細菌（耐性菌）をつくりだしてしまう事があります

ので使い方を十分認識しましょう。



～発熱は病原体をやっつける正常反応～

人間の体は、外からウイルスや細菌などの病原体、異物が侵入してきた時に白血球という血液の成分が動き出してやっつけようとします。

白血球は平熱よりも高い温度で働き出す為「発熱」は体を守る防御反応であり、白血球が病原体、異物と戦っている証拠なのです。

更に、風邪などのウイルスは熱が低いほうが繁殖しやすい性質を持っていますので必死に体温を下げる必要はないです。とはいえ、発熱が続くぐったりする・水分とれないなどがあれば、クーリング処置や解熱剤を使用し、解熱した際に水分補給や食事の接種などを行うとよいでしょう。

＜クーリング＞首回りや足の付け根などを重点的に冷やす！

＜服装＞手足が冷たい時⇒温める 手足が温かい時⇒薄着で調整

＜熱の持続期間＞3日以内で治まるようであれば風邪ウイルスなどを原因とする発熱と考えられますが、4日以上続く場合はウイルス以外の感染がないかの判断が必要となります。

※保育園は集団生活の場となりますので、感染症の流行状況によっては早期に受診をお願いする場合がありますのでご了承ください。

※保育園は集団生活の場となりますので、感染症の流行状況によっては早期に受診をお願いする場合がありますのでご了承ください。

RSウイルスとは RSウイルスの感染による呼吸器の感染症です。何度も感染と発病を繰り返しますが、生後1歳までに半数以上・2歳までにほぼ100%の児がRSウイルスに少なくとも1度は感染するとされていますが、大人になっても繰り返し感染するウイルスである。

症状⇒軽度の風邪症状から重い肺炎まで様々です。1歳未満の乳児は呼吸困難・ゼーゼーなどを起こす場合あり、3か月未満ではチアノーゼや無呼吸を起こし重症化する場合があります。

心臓・肺に疾患がある・早産・低出生児も重症化する場合がある。2歳を超えると単なる風邪で終わることがある。重症化すると入院治療が必要となります。

流行期⇒晩秋から冬にかけて流行。ですがその年により時期や程度が異なる場合あり。

潜伏期間⇒発症前の4～5日

注意：当園でも重症化を防ぐ為、低年齢・低月齢・心疾患や肺に持病があるお子さんには早期対応をおすすめしますので、保護者の皆様にはお子さんの既往歴の情報を園までお知らせする様をお願い致します！

★目の愛護デー★

こんな様子はありませんか？

- ◎目を細めてテレビをみている
- ◎顔を傾けて物をみている
- ◎顔を近づけて本を読んでいる
- ◎目ヤニが多い
- ◎いつも涙ぐんでいる

★当園感染症報告★

溶連菌感染症⇒ちゅうりっぷ1人 たんぽぽ1人

※県内の5類感染症の報告はありませんが、引き続きコロナウィルスも含め気を付けていきましょう

報告日：9月28日

